平成 26 年 2 月 14 日

各　　位

上場会社名　株式会社ファーストエスコ
代表者名　代表取締役社長　島﨑　知格
（コード番号：9514 東証マザーズ）
会社所在地　東京都中央区八重洲二丁目 7 番 12 号
問合せ先　常務取締役　小池　久士
（TEL.03-5299-8521）
ＵＲＬ　http://www.fesco.co.jp/

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、2017 年（平成 29 年）6 月期までの中期経営計画について、添付のとおり策定いたしましたので、お知らせいたします。

以　上

2014年度　ファーストエスコグループ
〈第３次〉
中 期 経 営 計 画

平成２６年２月１４日

株式会社ファーストエスコ
証券コード　９５１４

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

はじめに

ファーストエスコグループでは、平成13年10月に公表した第2次中期経営計画の推進に傾注してまいりましたが、当初の計画の達成に概ね目途が立ったものと判断し、新たな経営計画をお示しすることといたしました。

現行の第2次中期経営計画の基本的なコンセプトは、事業リストラの完了と自己資本の充実に主眼を置き、新たな開発、投資については慎重な姿勢を示したものでした。しかし、原発事故以降のエネルギーに関する政策、事業環境の変化を受けて、関係各位のご期待に少しでもお応えする為には、新たな事業計画において保守的な姿勢からの脱却と、今後の事業展開で目指す方向性をお示しすることが重要と判断いたしました。第3次中期経営計画では、現在の事業環境、すなわち固定価格買取制度の下で木質バイオマス発電事業の推進、発展と、これに関わる周辺事業の展望を加味し、新たな事業基盤の構築の道筋をお示しいたします。

平成26年2月14日

株式会社ファーストエスコ

FESCO

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

企業理念

「エネルギーの黒子であろう」

人のための省エネ　人々のための再エネ

近道は遠回り　正攻法はまっすぐに

脇役にも一流がある

「人のための省エネ　人々のための再エネ」とは

人々が、今と変わらず快適で便利な暮らしを未来にわたって続けていける為に私たちは何を求められているのか。

「近道は遠回り　正攻法はまっすぐに」とは

もっと本質的な解決はないか、より継続的に利用できるものはないか、常に私たちは考え挑戦し続けていきます。

「脇役にも一流がある」とは

そして、一流の脇役が時に作品の質を飛躍的に高めるように、私たちファーストエスコグループが良い仕事をすることにより、人々が快適で便利な暮らしが行えるようつなげていきたいという思いが込められています。

FESCO

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

エネルギーを取り巻く市場の変化

省エネルギー

原子力発電所の停止に伴う電力不足

火力発電への依存拡大に伴う
CO2排出量の増加

エネルギー消費量の抑制
『安い/簡単/速攻性』の省エネが求められる

エネルギー利用の効率化に向かって
技術・知恵の省エネに回帰することが期待される

新エネルギー

再生可能エネルギー全体に期待が高まる

原発の代替
エネルギーの国産化
CO2削減（脱化石燃料）

再生可能エネルギーの中で
木質バイオマス発電への期待とは？

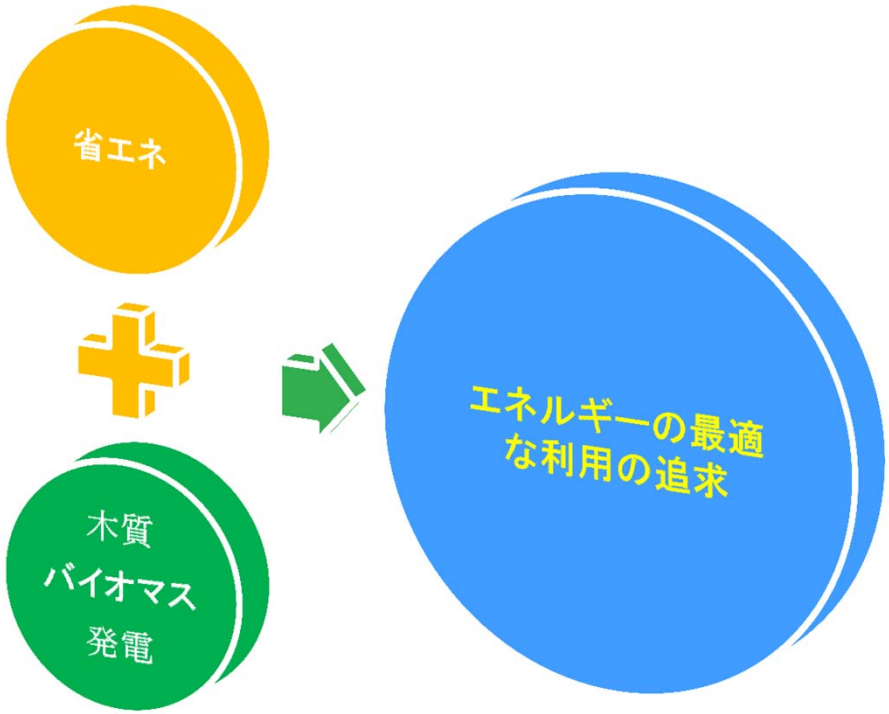
地域の森林再生、林業振興を目的として、
政府や地方自治体などからの期待が高まる

FESCO

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

FESCOグループのビジョン

ファーストエスコグループの事業基盤は、
省エネと再エネに立脚してまいります。



ファーストエスコグループへの期待

大量エネルギー消費を前提とした社会機構の中で、原子力発電所の停止に伴い、電力供給の安定性に不確実性が生じました。このため、需要側における省エネと、供給側における再エネ普及は、どちらも重要な役割を期待されています。

目指すもの

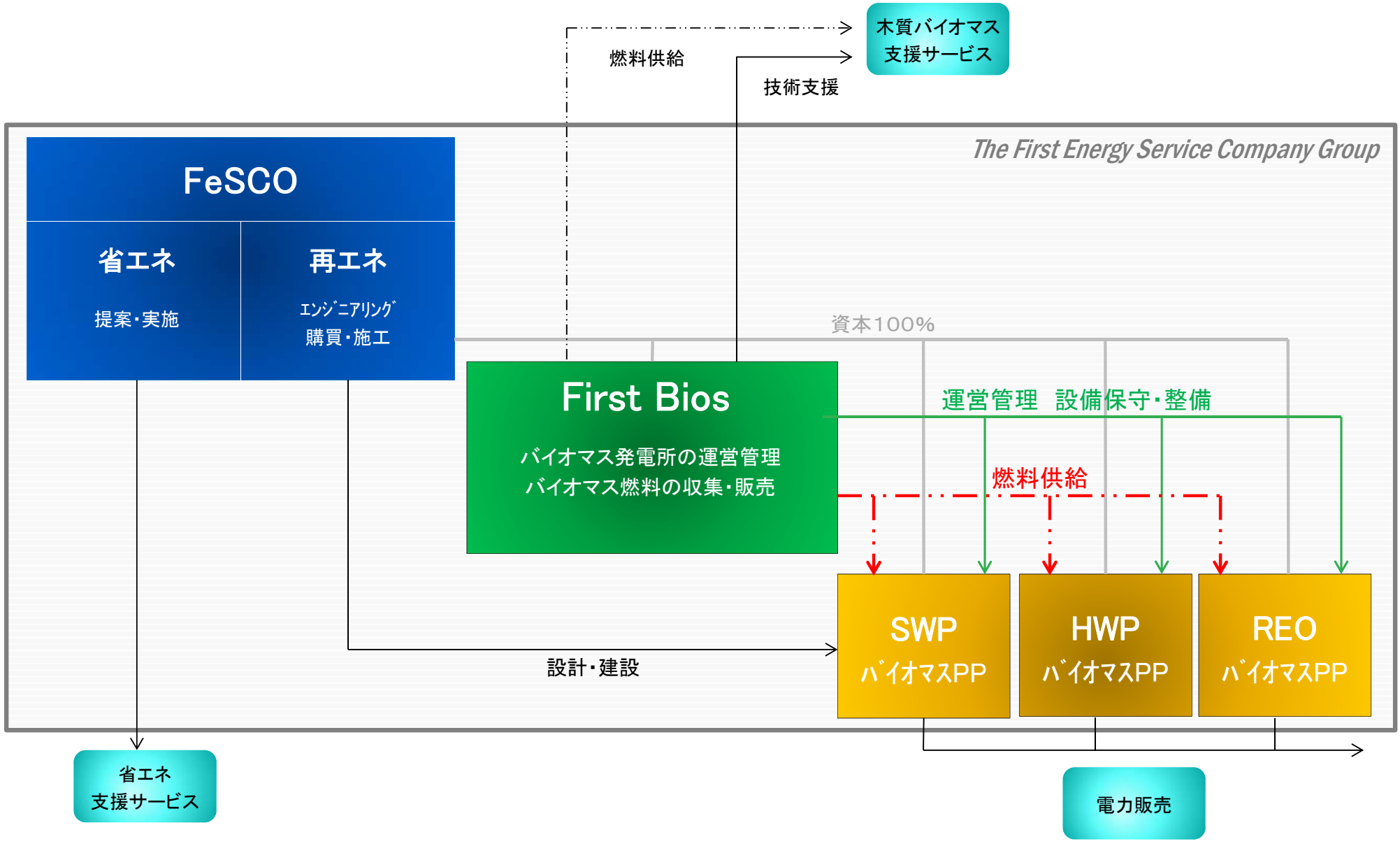
エネルギー多消費時代の効用を維持しつつ、効率的なエネルギー利用による需要の縮小と、再エネの活用による化石燃料消費を削減する為にエネルギーの最適利用の追求を行っていきます。



FESCO

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

FESCOグループの事業構造



(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

事業戦略

木質バイオマス関連分野へ投資を拡大していきます。

現状の収益環境は原発事故以降、再エネに追風、省エネには薄利多売を強いる状態にあります。
こうした状況の下で、今後4～5年の中短期的な動向は概ね不変であると考えています。
このような状況を鑑みた結果、当社グループの投資戦略に関して、木質バイオマスP/Pもしくは、
同事業の周辺分野に集中すべきと判断しています。

セグメント情報（過去推移）

セグメント		13期 2009年6月期	14期 2010年6月期	15期 2011年6月期	16期 2012年6月期	17期 2013年6月期
省エネルギー支援サービス事業	売上高	4,020	3,889	3,821	3,946	3,770
	セグメント利益	10	95	191	227	130
グリーンエナジー事業	売上高	1,647	2,609	2,627	1,630	2,292
	セグメント利益	△606	△559	392	185	586



（単位：百万円）

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

投資すべき分野



バイオマス関連技術及び
同分野への人的投資

発電設備等
発電所の新設／発電所整備･改修





燃料設備等
燃料の製造／品質向上

バイオマス周辺分野
資源調査／森林経営／焼却灰リサイクル

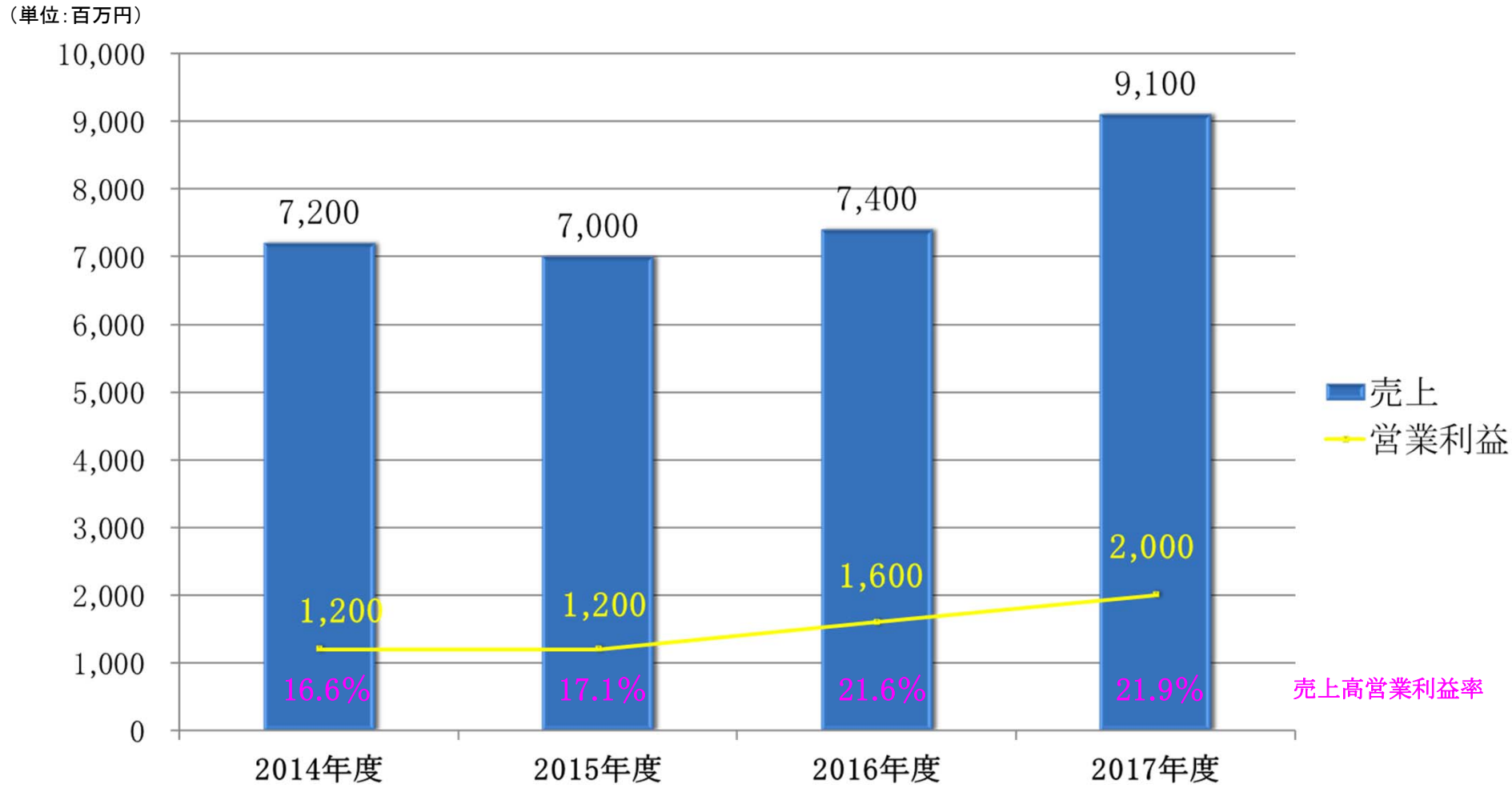


FESCO

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

収益計画

①連結売上高及び営業利益

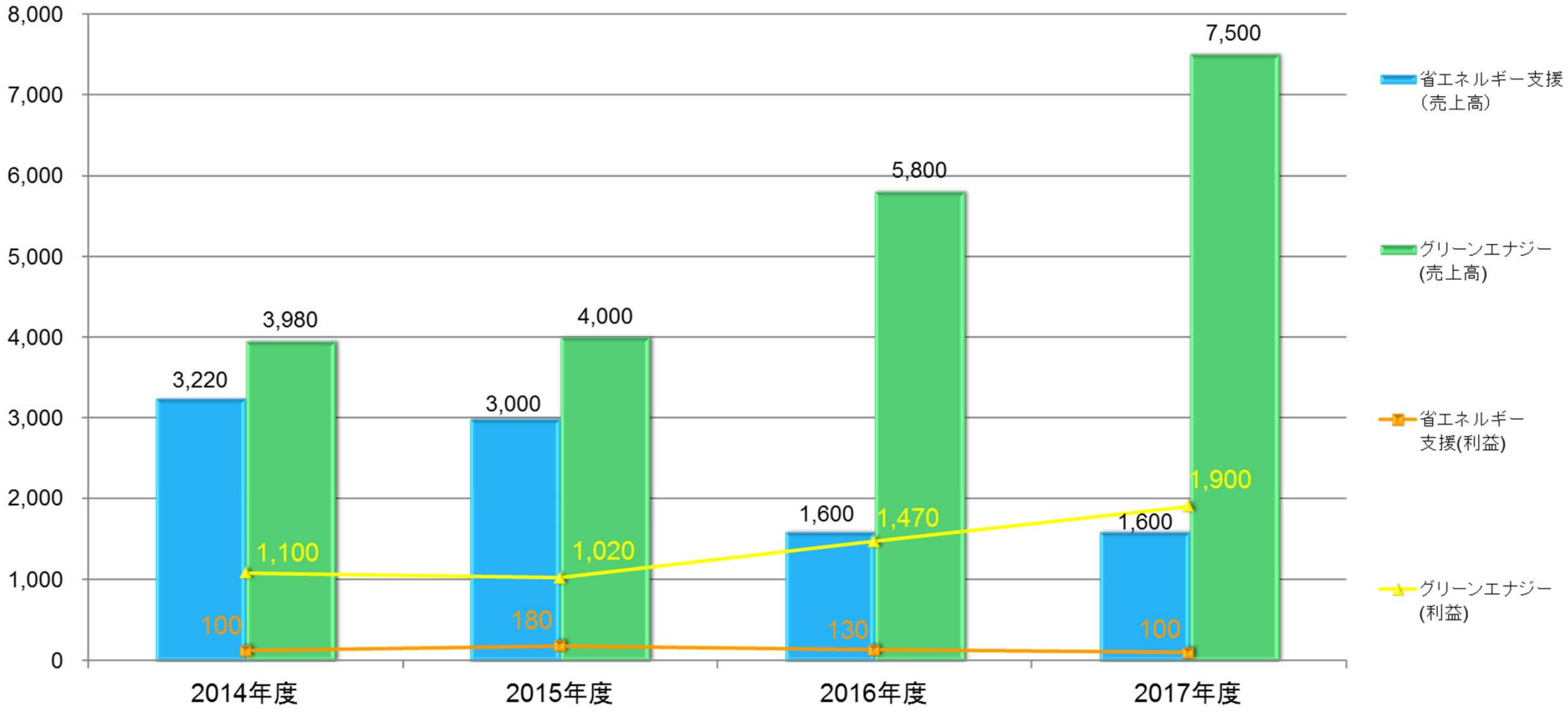


(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

収益計画

②セグメント内訳

（単位：百万円）

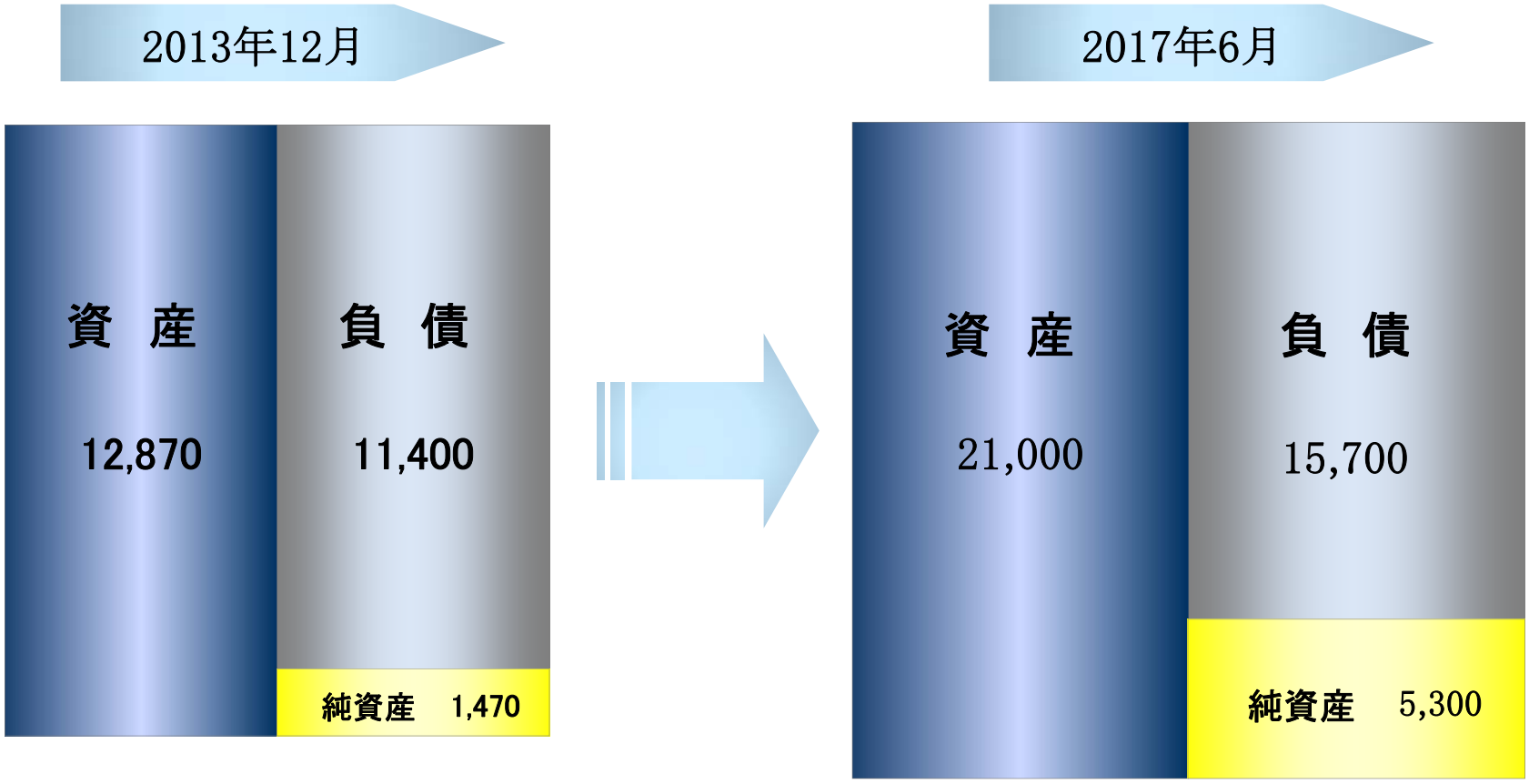


(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

純資産見通し

③連結BS

（単位：百万円）



各事業セグメントの収益性の改善により、3年目を目処とした中期目標として
自己資本比率25%の水準を目指しております。

FESCO

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

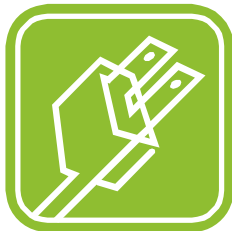
FESCOの取り組み・今後の展開

日本における中期的な”エネルギーインフラ最大の課題”は、
エネルギーの需要と供給の最適マッチングの実現です。
その為には”スマートグリッド”等を利用したエネルギーインフラの構築が必要となります。

原発が稼働していた時代には潤沢な電気を送電網（グリッド）に供給しており、
その結果、供給余剰が常態化していました。

現在では、強力なベース電源が不足する中、最適需給の実現に向けてリアルタイムに
電力バランスを把握できる「賢い」送電網が望まれています。
ファーストエスコグループでは、こうしたエネルギーインフラの再構築がなされる中で、
需要側の更なる最適化を目指した省エネルギー支援を追求していきます。






FESCO

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

WOOD POWERの取り組み・今後の展開

木質バイオマス発電の先駆者として
森林系燃料利用で一歩リード

日本で最初の商業用木質専燃バイオマス発電所として、
白河ウッドパワー（福島県）、日田ウッドパワー（大分県）を相次いで稼働させ、
近年では年間設備利用率90%超を達成しています。

これは一般の火力発電所より高い水準であり、ファーストエスコグループとしても、
望み得る最高の稼働率を実現していることになります。
こうした実績を生み出しているのは、発電所の運営体制の抜本的な見直しと、
設備改善における野心的な取り組みの結果です。

そして今後の課題としては、**森林系燃料の使用割合が「50%→80%」**へと
拡大した場合でも、**年間設備利用率90%超を継続して実現**することです。



日田ウッドパワー　日田発電所
発電出力：12,000kW
敷地面積：約20,440㎡
使用燃料：約120,000ｔ
運転開始：平成18年11月



白河ウッドパワー　大信発電所
発電出力：11,500kW
敷地面積：約22,000㎡
使用燃料：約120,000ｔ
運転開始：平成18年10月

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

F-BIOSの取り組み・今後の展開

事業展開

1. 生木を燃やせる発電技術

①FIT燃料50%～80%でも
継続可能な運転技術の確立

2. 定期整備の有効性改善

①予防保全技術の精度向上
②補修から設備改善へ
③高質な整備を短期間に実施
④「技術者」の増員/育成

3. 燃料チップの品質管理

①水分量の調整
②不純物の除去
③性状の均質化

4. 燃料チップの安定供給

①広範なチップ生産者とのサプライチェーン
②資源調査のもと安定供給体制の強化
③森林経営

FESCO

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved

会社概要

■	会社名	株式会社ファーストエスコ
■	事業内容	総合エネルギーサービス業（ESCO：Energy Service Company）
■	本社所在地	東京都中央区八重洲2-7-12　ヒューリック京橋ビル7F
■	代表取締役	島﨑　知格
■	設立	1997年5月
■	資本金	1,000百万円
■	従業員数	連結：90名　単体：31名（2013年12月末現在）
■	発行済株式数	14,550,100株
■	単元株主数	6,859名（2013年12月末現在）
■	関係会社	株式会社ファーストバイオス　（連結子会社） 株式会社日田ウッドパワー　（連結子会社） 株式会社白河ウッドパワー　（連結子会社） アールイー大分株式会社　（連結子会社） ソレイユ日田株式会社　（連結子会社）



FESCO

(C) 2014 The First Energy Service Company Limited. All Rights Reserved